

11007年度の夏期学校教案を発送であります  
ことを感謝いたします。

早速、教案について説明させていただきます。  
「装」について

今回も、局で作製したものを、各教会に一部ずつお送りします。必要な部数を「コピーして下さい。特にワークは、生徒の数にしたがって、何枚コピーしていただき結構です。

夏期学校は、小学生が主なメンバーになると想いますので、ワークは、1・2年生を対象にした「下級」、3・4年生向きの「中級」、5・6年生を想定した「上級」の3種類を用意しました。

しかし、1・2年生でも、上級のワークに挑戦したい子どもたちもいると思つます。ぜひ、子どもたちの教会生活の長短や学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで与えてください。

二、カリキュラムについて

今年度の教団標語は、昨年に続いて「強く、雄々しくあれ」とヨシュア記より掲げられています。今年の夏期学校も同じく「ヨシュア」を学び、「信仰に生きる」という年題のもとに、信仰を堅くさせたいただく夏とされたいと願っています。

世はまさに終末の様相を示しており、生けるもの

か進んでいためだと願つております。  
今年度の教案の第1課では、「主の臨在が勝利の秘訣」ということを学びます。第2課では、「み言葉」ことが勝利の秘訣であることを学びます。第3課では、「ヨシュアの信仰の決断」を通して、自分だけの信仰から、家族全員への信仰の継承を実現していくかのじとの励ましをいただきます。  
この学びは、今までいたりの日々の信仰による歩みに、必ず大きな希望を投げ込んでいく運びになります。

夏期学校では、一人一人の子どもたちとじっくり語り合い、共に現実を見つめながら、ヨシュアの信仰になりつて、勝利の日々を確信できました

り感謝です。

「信仰は生活」ですから、夏期学校からこれまで続いて教会生活へとつながるようになり、子どもたちを指導できたら幸いです。多くの不安に囲まれる現実の中にも、「強く、雄々しくあれ」と、ヨシュアを励ました神様に励まされて、信仰の歩みを踏み出せる夏期学校となりますようにお祈りします。

### 三、執筆担当者

メッセージ例　富澤 ミキ師  
下級ワーク　白尾 真理子師  
中級ワーク　小泉 劇師  
上級ワーク　土屋 開夫師

「牧羊者」のように聖書講解がありませんが、必勝なのだと「ヨシュア」の学びを通して、深い魂に刻んだばかり、実戦の日々を勝

地の夏期学校の上に祝福をお祈りいたします。

## 第一課 主が共におられる

聖書 ヨシュア記1・1～18

暗唱聖句

わたしはあなたに命じたではないか。  
強く、また雄々しくあれ。あなたがど  
こへ行くにも、あなたの神、主が共にお  
られるゆえ、恐れてはならない、おのの  
いてはならない。(ヨシュア記1・9)  
共におられる主を信じて生きる。

### 導入

あなたは、今までに何かグループのリーダーや班長を経験したことはありますか?もし、これから何がおきるのかわからないのに、大勢の人たちのリーダーに選ばれたらどうしますか?

今回は、新しくイスラエルのリーダーとして選ばれた、ヨシュアについて学びましょう。

### 新しいリーダー、ヨシュア

長い間、イスラエルの民を導いてきたモーセは神様の約束の地、カナンを目の前にして、120歳で亡くなりました。そこで神様が次にリーダーとして選んだのは、ヨシュアでした。ヨシュアはモーセの従者として忠実に働いていました。また、ヨシュアは勇気のある人で、イスラエルの民とアマレク人との戦いでは、先頭に立つて戦いました。そしていつでも、どんなときでも、神様を信じて従っている人でした。

しかし、リーダーに選ばれたヨシュアにとっては、うれしいことではありませんでした。「あんな

に立派だったモーセ先生の後に、自分がリーダーなんて務まるのだろうか」、「200万人以上もいるイスラエルの人たちを、正しく導けるのだろうか」、「どうしたら神様からの約束を果たせるのだろうか」と、不安でいっぱいでした。

さらに、リーダーになつたヨシュアには大切な仕事がありました。それはヨルダン川を渡り、神様が与えてくださると約束された、カナンの地にイスラエルの民を導くということでした。しかし、カナンの地にはすでに住んでいる人たちがいました。また、高い城壁に囲まれていて、とても入れそうにはありません。この戦いに、どうすれば勝利できるだろうかと不安だつたのです。

### 主からの約束

神様は、ヨシュアの不安な気持ちをよく存知でした。そして、ヨシュアに対し「わたしは、モーセと共にいたように、あなたと共におるであろう。わたしはあなたを見放すことなく、見捨てることもしない」(5)、だから自信をもつて「強く、また雄々しくあれ」(6)と、何度も励ましてくださいました。

ヨシュアは自分がイスラエルのリーダーとして選ばれたとき、とても不安でした。しかし、神様はヨシュアに「あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」(9)と何度も励ましてくださつたのです。また、神様の命令である、「あなたに命じた律法を」と「とく守つて行」(7)を秘訣として、「わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法を」と「とく守つて行」(7)なさい、と教えられました。つまり、神様のみ言葉だけを信じ従つて生きること、そこから右にも左にもそろへはならない、ただまつすぐ従つて行くこと、そうすれば神様が戦いに勝利してくださる、と言わわれたのです。なんとすばらしい約束でしようか。

ヨシュアの心から不安はなくなりました。そして神様の命令を守り、ただ神様にだけ従つて行くことを決心しました。

ヨシュアがイスラエルの民にも、これらのこと

を伝えると、イスラエルの民は「われわれはすべてのことをモーセに聞き従つたように、あなたに聞き従います」(17)と、モーセの時と同じように、ヨシュアが強く、雄々しくいられるようにとの、お祈りも忘れませんでした。

### まとめ

ヨシュアは自分がイスラエルのリーダーとして約束してくださつたのです。また、神様の命令である、「あなたに命じた律法を」と「とく守つて行」(7)を守るなら、その戦いは神様が勝利してくださると約束してくださつたのです。このことは、ヨシュアにとってどんなに心強いことだったでしょう。

ヨシュアと共におられる神様は、私たちと共にいてください、私たちにも同じように、み言葉を守り従うなら、これから起きる様々なことに勝利させてくださいと、約束してくださいます。ですから、私たちもただ神様のみ言葉を堅く信じて従つて生きる者でならせていただきましょう。

## 第一課 勝利の道

聖書 ヨシュア記5・13～6・27

暗唱聖句 信仰によって、エリコの城壁は、七日にわたつてまわつたために、くずれおちた。  
ヨシュアは「ブル11・30

目標 み言葉に従つて勝利する。

### 導入

ヨシュアとイスラエルの民は、神様のみ言葉に従つて、ヨルダン川を無事に渡ることができました。そしてカナンの地へと進み、とうとうエリコの町までたどり着きました。しかしエリコの町は、うわさで聞いていたとおり、高い城壁に囲まれています。さらにエリコの人たちは、これまでのイスラエルのうわさを聞いて、その民を恐れたため、城門を堅く閉じたままであります。とても簡単にはその町の中に入れないようにしていました。

### ヨシュア靴を脱ぐ

イスラエルの民が神様の不思議な力によつてヨルダン川を渡つたことは、エリコの人々の間で話題になつていました。そのためエリコの人々はイスラエルの民をとても恐れていました。門を堅く閉ざして、誰も町の中に入れないようにしていました。

ヨシュアは「どうしたら、この町の中に入るこ

とおり、戦いに勝利することができるだらうか」と、町を見上げて考えていました。するとそこには、「あなたは私たちの味方ですか、それとも敵ですか」と尋ねました。するとその人は「いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ」(13)と答えたのです。その人は、神様の軍勢の最高司令官だったのです。ヨシュアはびっくりして地にひれ伏して「神様は私に何を語つてくださるのでしょうか」と尋ねました。最高司令官は「あなたの足のくつを脱ぎなさい。あなたが立つている所は聖なる所である」(15)と言わされました。ヨシュアはすぐにその言葉どおりくつを脱ぎました。

神様は、エリコの町を攻撃する前にもう一度、ヨシュアの信仰を確認したかったのでしよう。くつを脱ぐということは、自分がその人の僕であるという証しだ。ヨシュアは神様の前に「自分は神様の僕です」「自分は神様のみ言葉に従います」と表明したのでした。

### エリコ陥落

いよいよエリコの町を攻撃するときが来ました。

神様がその方法を教えてくださつたのです。神様の示された方法は、戦士、角笛を持った7人の祭司、契約の箱の順番で列になり、1日に1回エリコの町の周りを回ること。これを6日間続けること。そして7日目には、町の周りを7度回つて祭祀が角笛を鳴らし、それを合図に、人々は大声をあげるというものでした。神様は「そうすれば、町の周囲の石がきは、くずれ落ち、民はみなだ

れました。ヨシュアたちは、その日、朝早く起き町の周りを7度回りました。そして7度目に祭司たちが角笛を高く鳴らしたとき、「呼ばわりなさい。主はこの町をあなたがたに賜わつた」(16)と、ヨシュアが叫んだので、イスラエルの民はこれ以上ないというくらいの大きな声を上げました。すると、どうでしよう。あのエリコの町を守つていた高い城壁が崩れ落ちたのです。イスラエルの民は一斉に町の中に入ることができたのです。そして、あつた間にエリコの町を攻撃し勝利することができたのです。

### まとめ

ヨシュアとイスラエルの民がエリコの町を勝ち取ることができたのはなぜでしようか。ヨシュアに力があった訳でも、イスラエルの民にたくさんの武器があつたからでもありません。彼らがしたこととはただ、エリコの町の周りを回つて大声を上げるという不思議な方法でした。しかし、それは神様のみ言葉でした。彼らが勝利することが出来たのは、「み言葉を信じて従つた」からでした。私たちも同じように、神様のみ言葉が語られたなら、必ず成ると信じてお従いしましよう。そうするなら、神様は必ず、私たちをも勝利に導いてくださいます。

### 第三課 主に仕える

聖書 ヨシュア記24・1～30

暗唱聖句 ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。ヨシュア記24・15b

目標 真心と、真実をもつて、主に仕える。

#### 導入

エリコの町での勝利の後も、神様は数々の不思議な業でイスラエルの民を守り、導いてくださいました。その間ヨシュアはリーダーとして神様に忠実に従い、イスラエルの民が神様から離れないよう指導してきました。そんなヨシュアも年を重ね、すっかりおじいさんになっていました。

#### 神様の恵みを思い出す

ヨシュアはイスラエルの民を全員呼び集め、神様がこれまでにしてくださった事を話し始めました。それは自分たちの先祖アブラハムの時代に、他の神々から連れ出して子孫を増やしてくださいましたこと、その後エジプトに渡って、辛い奴隸生活から、モーセを遣わして救い出してくださったこと、また、40年間の荒野での生活のときも、食べるものを与え、戦いにも勝利し守られたこと、そして、ヨルダン川を渡り約束の地カナンへと導いてくださったこと。今、自分たちが食べることにも、寝ることにも、何においても困らないで、暮らしていられるのは全て、自分たちの努力ではなく、ただ神様のお力のみであったことを、思い出させるためでした。

続けてヨシュアは「それゆえ、いま、あなたがた

は主を恐れ、まことと、真心と、真実とをもつて、主に仕え(よ)」(14)と忠告したのです。これまで、神様のみ言葉に従つてきましたから、そ守られてきたのだから、これから先も心を込めて、神様のみ言葉にお従いしなさい、そうしなければ、自分たちが滅びるのだと知らせたかったのです。

#### 神様との約束(契約)

さらに、家族と共にまことの神様を畏れ敬つていたヨシュアは、「あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます」(15)と、イスラエルの民に問い合わせました。これまでヨシュアがリーダーとして、イスラエルの民に神様のみ言葉を伝え、導いてきましたけれど、これからは本当の神様にではなく、自分たちが選んだ他の神々に従つて行きましたが、どうしなさい、どちらにするのかを自分たちで決めなさいというものでした。ヨシュアはイスラエルの民一人一人に決断を迫つたのです。

ヨシュアはこの契約の後、まもなく110歳で亡くなりました。ヨシュアは年を取り、自分がもうすぐこの世からいなくなることを悟っていたのでしょうか。ですから、自分がこの世を去る前に、イスラエルの民の心を整えておきたかったのです。

神様を信じて従うということは、誰かにやりなさいと言われてすることではありません。自分が心からそうしたいと思って行動しなければ、続かないのです。ヨシュアはそのことをイスラエルの民に知つてほしかったのです。一人一人が神様とスラエルの民一人一人に決断を迫つたのです。

ヨシュアは「私たちにはみな「私たちはこれまでどおり神様にお従いします。他の神々に仕えるなんて考えられません」と答えました。しかしヨシュアはもう一度、「あなたたちは本当に神様のみ言葉だけでは、神様の恵みを本当の意味で知ることは出来ません。しかし、ただ何となく神様の話を聞いているだけでは、神様の恵みを本物の意味で知ることは出来ないのです。神様は私たちにも、み言葉を信じて約束をすることが、大切なことです。

私たちも、最初は誰かに誘われたり、勧められたりして教会に来て、神様のことを知つたかもしれません。しかし、ただ何となく神様の話を聞いているだけでは、神様の恵みを本物の意味で知ることは出来ないのです。神様は私たちにも、み言葉を信じて従つてきてほしいと願つておられます。ヨシュアのように自分と家族は、まことの神様を選び取ると決意をしたように、誰かがしているからではなく、自分で決断することが大切なのです。そして日々神様により頼みつつ、心からのお祈りをささげ、神様に喜ばれ、神様と共にある生活の中で、家族に証となる歩みを、主にあつてさせていただきましょう。

「われわれの神、主に、われわれは仕え、その声に聞きしたがいます」(24)と宣言し、自分たちのそばにあつたほかの神々を全て処分しました。

こうして、イスラエルの民は神様の前に自分たちの決断を言葉と行動とで表し、これからもずっと神様にお従いしますと約束をしました。

2007年度

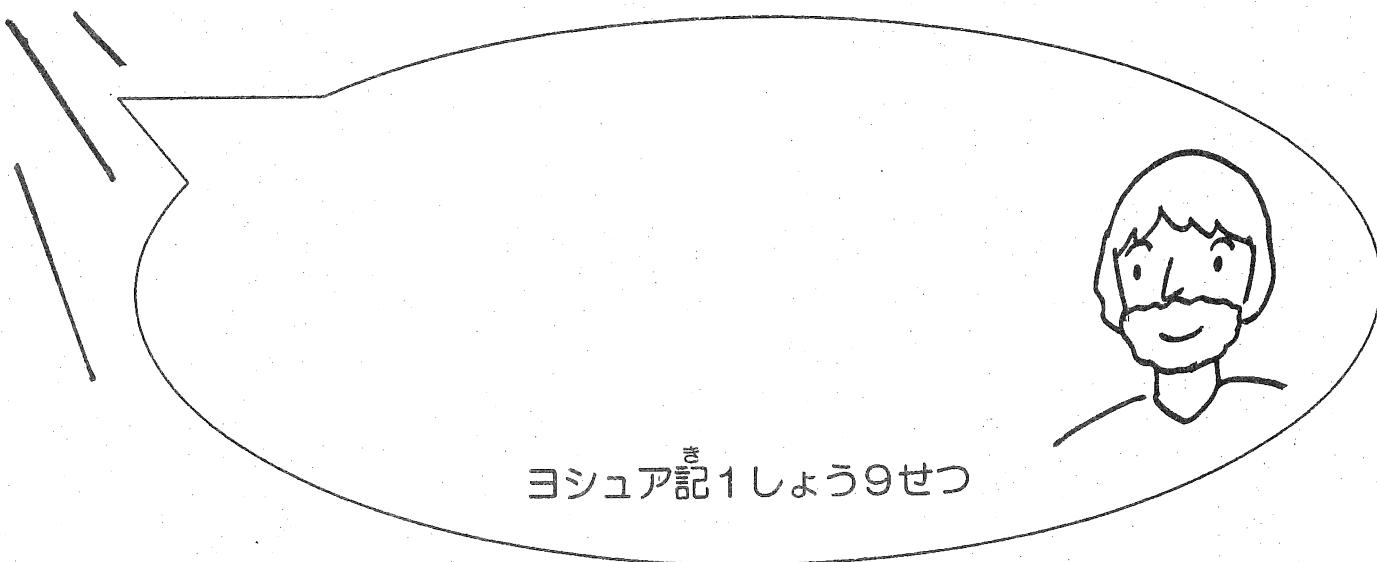
かきゅう だい か しゅ とも  
下級 第1課 主が共におられる

「ヨシュア記1章1節～18節」 なまえ

1. ヨシュアについて、正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- ① ヨシュアは神さまが、えらんでくださったことがうれしくて、  
じまんしました。 ( )
- ② ヨシュアは、神さまにえらばれたとき、しんぱいになりました。 ( )
- ③ ヨシュアは、神さまのみことばをしんじて、げんきになりました。 ( )

2. 神さまは、おそれているヨシュアに、何といわれましたか？



ヨシュア記1章9節

3. 神さまのみことばにしたがうとき、神さまは、どんなことを  
してくださると、やくそくされましたか？

[Empty box for answer]

させてください。

2007年度

下級 第2課 勝利の道

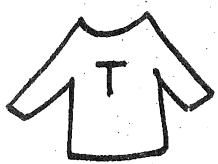
「ヨシュア記5章13節～6章27節」 なまえ

1. エリコのまちについたとき、ヨシュアのまえにあらわれたのは、  
だれでしたか？



2. そのひとは、何をぬぎなさいといいましたか？

ようふく ぼうし くつした くつ てぶくろ



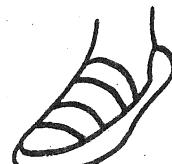
( )



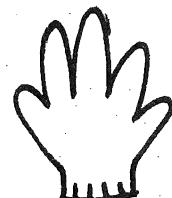
( )



( )



( )



( )

3. 神さまはヨシュアに、エリコの城へきをくずす方法を、

おしえてくださいました。一字おきに、×をつけてよんでね。

( 「、」は、はずしてください。 )

① せんとしかともさぎいつしてと、にけたいあやむくばの  
みはしこりでといらちげにわちしいもっるかのい、ゆまだち  
くをさまひわんる。

② なのしかさめしにら、まわちはばをせなどなぞかめいきま  
すわらついて、ペつりのこぶおえだをすふまきて、みかん  
じなとでもおりおうごちえなをすだます。

2007年度

かきゅう だい か しゅ つか  
下級 第3課 主に仕える

「ヨシュア記24章1節～30節」

なまえ

1. あなたのまわりの、神さまのめぐみを、思い出してみましょう。

神さまのめぐみと思うものに、○をつけてください。

●  きょうかいに、いくこと( )

● かぞく  が、いること( )

● ともだち  とあそべること( )

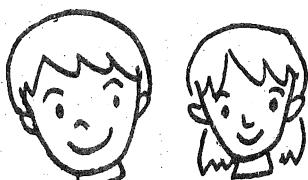
● 聖書のやくそくが、あること( ) 

● イエスさまを、しんじていること( ) 

2. きょうのみことばを、かきましょう。

ヨシュア記24章15節

3. きょうのあなたの決心を、かいてください。



---

---

## しゆ 生が共にあられる

ヨシュア記 1章 1~18節

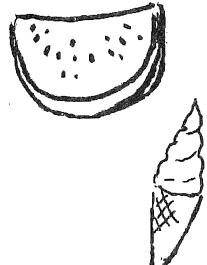
## 1. 次の質問に答えよう！

- ① イスラエルのリーダー、モーセが死んでから、<sup>あたら</sup>新しいリーダーにえらばれたのはだれでしょう。

【 】

- ② ヨシュアにまかされたしごとは何だったでしょう。○をつけましょう。

- たくさんの羊のみはりをすること
- たくさんのイスラエルの人たちをカナンの地にみちびくこと
- たくさんのやさいをつくってみんなに食べさせること



- ③ 神様はヨシュアになんとおっしゃったでしょうか。暗唱聖句を覚えて、書いてみましょう！

「

( ヨシュア記 1章 9節 )」

## 2. 考えてみよう！

- ① あなたはどのようなとき心配になったり、おそれたりするでしょうか？

- ★ 一人であるすばんをするとき ★ にが手なことをまかされたとき
- ★ 家族がびょうきになったとき ★ 友だちがいじめられているのを見たとき

- ② あなたが心配になったとき、神様はどのような約束をしてくださっているでしょう。○をつけましょう。

- ◆ 「わたしにたよらないで、一人でがんばりなさい」
- ◆ 「たまにはたすけてあげよう」
- ◆ 「あなたといつも共にいて、たすけてあげよう」



## 《 お祈りしよう！ 》

天のお父様。ヨシュアと共にいて、たすけてくださったように、ぼくと（私と）共にいて、たすけてください。どんなときも、恐れたり、おののいたりしないで、神様を信じます。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。



しょうり みち  
勝利の道

ヨシュア記 5章13節～6章27節

## 1. 次の質問に答えよう！



① ヨシュアはエリコの町のそばで、剣をもったふしきな人とであります。その人は神様の軍の司令官でした。そのときヨシュアはどうしたでしょうか。○をつけましょう。

- ▲ 見たことがない人なので、しらないふりをした
- ▲ 自分も剣をぬいてその人とたたかつた
- ▲ くつをぬいで、神様をれいはいした

② エリコの町はとても守りがたかったので、神様はヨシュアにみことばをあたえてくださいました。神様のさくせんはどういうものだったでしょう。ことばをえらんでみましょう。

## ・1日目～6日目

7人の祭司たちが【 】をふきながら、けいやくの箱と、せんしだちもいっしょにエリコの町を一日【 】回まわる。  
人々は何もいわないでだまって歩く。

## ・7日目

7人の祭司たちと、けいやくの箱と、せんしだちもいっしょにエリコの町を【 】回まわる。

祭司たちが【 】をふいたら、人々は【 】をあげる。

ハーモニカ、ラッパ(つのぶえ)、1、2、7、8、大声(ときの声)、  
プレゼント、イスラエルのはた

③ 神様のみことばにしたがったとき、どうなったでしょうか？

- ★ 町の人たちにうるさいとおこられて、ヨシュアたちは負けた
- ★ エリコの町の石がきがくずれて、たたかいに勝った
- ★ イスラエルの人たちは歩きつかれて足がいたくなつた

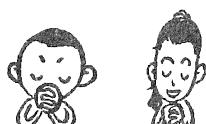
## 2. 考えてみよう！

あなたがヨシュアだったら神様のみことばを信じますか。



- 神様のみことばはまちがいがないと信じる
- うまくいくかわからないので信じない
- 自分のさくせんどおりにやってみたいので信じない

いつも神様のみことばを信じることが信仰です。ヨシュアもみことばを信じる信仰によって勝利しました。



## 《 お祈りしよう！ 》

天のお父様。ヨシュアとイスラエルの人々は、神様のみことばを信じてそのとおりにしました。するとエリコの石がきがくずれて、エリコの町に勝ちました。ぼくも(私も)いつも神様のみことばを信じてします。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

しゆ つか  
主に仕える

ヨシュア記 24章 1~30節

## 1. 次の質問に答えよう！

- ① ヨシュアはおじいさんになったとき、神様を信じてきた人生をどのように思いだしたでしょうか。○をつけましょう。
- ★ 神様を信じてもくるしいことばかりで良いことはひとつもなかった
- ★ 自分でまじめに生きてきたし、まあまあ良いほうだった
- ★ どんなときも神様はたすけて、まもってくださった。とてもよい人生だった

- ② ヨシュアはイスラエルの人たちに何といったのでしょうか。

- ▲ あなたたちもこの神様を信じなければ、おこるぞ
- ▲ あなたたちは自分の信じる神様を自分できちんと決めなさい
- ▲ ほかの人が信じている神様を信じたらいいよ



- ③ ヨシュアはどの神様を信じると言ったのでしょうか。暗唱聖句を覚えて、書いてみましょう。

「

( ヨシュア記 24章 15節)

ヨシュアはほかの人が何といつても、聖書の神様だけを信じます、と言ったのです。

- ④ ヨシュアのことばを聞いて、イスラエルの人々も信じる神様を決めました。それぞれが信じる神様と線をむすびましょう。

ヨシュア ◆  
ヨシュアの家族 ◆  
イスラエルの人たち ◆

◆ エジプトで仕えた神々  
◆ アモリ人の神々  
◆ 王なる神様

## 2. 考えてみよう！

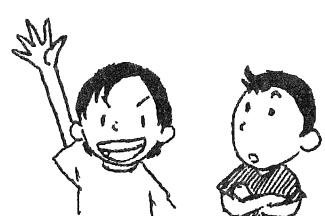
- ① あなたのまわりにはどんな神々がありますか？

たとえば： お寺、 神社、 地蔵、 占い師 など

- ② あなたはどの神様を信じたいと思いますか。それはなぜですか。  
どの神様を信じたい？ 【 】

そのりゆうは？ 【 】

あっちの神様も信じる、こっちの神様も信じる、というのはよくないことです。あなたを愛し、あなたをたすけてくださるまことの神様をしっかりと信じましょう。



## 《 お祈りしよう！ 》

天のお父様。ヨシュアは生きている間、神様を信じでしたがいました。それはほんとうに良いことだったと言いました。ぼくも（私も）神様を心から信じて、したがっていきます。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。



2007年 上級 名前 \_\_\_\_\_

## 第一課 主が共におられる

(ヨシュア記1・1~18)

1. 暗唱聖句を書きましょう。(ヨシュア記1・9)



2.これまでイスラエルの人々を導いてきたリーダーは、だれでしたか？

- ①ノア ②アブラハム ③モーセ ④ダビデ ⑤エリヤ

その人も、最初に神様から選ばれた時、とても恐れて、ピクピク、ドキドキでした。

でも、死ぬまで立派に役目を果たすことができました。なぜだと思いますか？

3.モーセが死んだ時、ヨシュアはどんな気持ちだったと思いますか？

4.あなたはだれか頼りにしている人がいますか？

その人はずっとあなたと一緒にいられるでしょうか？

5.生まれた時も、死ぬ時も、いつでもどこでも共にいてくれる方はだれでしょう？

6.恐れていたヨシュアに、神様はどんな約束をしてくださいましたか？

7.あなたが悲くなったり、心配になったり、さびしく感じる時はどんな時ですか？

そんな時はどうしたらいいと思いますか？

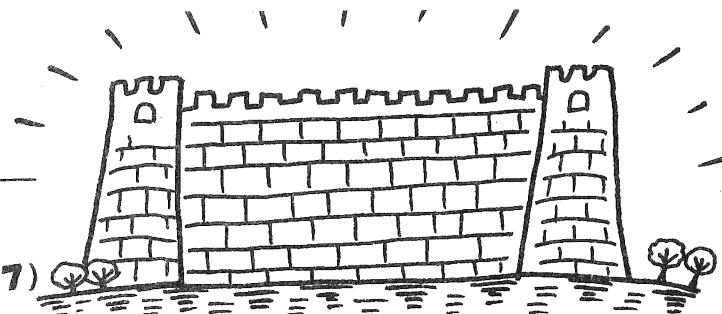
<お祈り>



2007年 上級 名前 \_\_\_\_\_

## 第二課 勝利の道

(ヨシュア記5・13~6・27)



1. 暗唱聖句を書きましょう。(ヘブル11・30)

2. ヨシュアたちが最初に戦う相手は、とっても高くて丈夫な壁でガッチャリ守られた

エリコの町でした。戦う前のヨシュアの気持ちはどうだったと思いませんか？

3. あなたは、エリコの町のように、自分の力ではどうする事もできないような大変な

できごとが目の前にある時、どうしますか？

4. ヨシュアの前に、手に剣をもった神様の軍隊の大将がきました。ヨシュアはその

人にどうしたでしょうか？ 次のうち、正しいものに○をしてください。

- ①. 自分も剣をぬいて戦いをいどんだ。
- ②. 「お前も俺の子分になれ」と言った。
- ③. 逃げた。
- ④. ひれ伏し拝み、ケツを脱ぎ、その人の言葉に聞き従おうとした。

5. 神様が教えてくださった、エリコの城壁を崩す方法は、エリコの町の周りを

7日間行進するというものでした。7日間全部で何回行進したでしょう？

- ①. 1回
- ②. 7回
- ③. 13回
- ④. 49回
- ⑤. 70回

6. 一週間は7日間あります。私たちは、その一週間をどのように生きたら、

ヨシュアたちのように勝利や祝福をいただけると思いませんか？

7. 特に、日曜日はどうしたらいいと思いませんか？

<お祈り>



2007年 上級 名前 \_\_\_\_\_

### 第三課 主に仕える

(ヨシュア記24・1~30)

1. 暗唱聖句を書きましょう。(ヨシュア記24・15b)



2. 神様はアブラハムの時代からヨシュアの時代に至るまで、ずっとイスラエルの人々

を導いてくださいました。1節から13節までの間に、次の言葉が何回でてくるか、数えてみましょう。

「導き 回」「与え 回」「祝福 回」「救い出した 回」

3. 神様は「あなたに」今までにどんなことをしてくださいましたか？ 思い出して書いてみましょう。

①. 「\_\_\_\_\_教会に導いてくださった。」

②. 「\_\_\_\_\_を与えてくださった。」

③. 「(自由に) \_\_\_\_\_」

4. 神様は最初にヨシュアに次の2つのことと約束してくださいました。

①わたしはあなたと共にいる。②律法を守るなら勝利を得て、約束の地を与える。

神様はこの約束を守ってくださいましたか？

約束を守られた · 約束を破られた

5. 「主に仕える」とは、どういうことだと思いますか？ 次の中から正しいと思うものに○をしてください。

①本物の神様を心から礼拝する。 ②石や木の偶像の神を拝む。

③自分の好きなものを、何よりも大切に思う。 ④神様のことを一番大切に思う。

⑤自分のやりたいようにする。 ⑥み言葉をよく聞き、従おうとする。

⑦イエス様を自分の救い主と信じる。

<お祈り>

